

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4	派遣国	カナダ
派遣大学	ヒューロン大学		
期間	2022年 9月 8日～ 2023年 4月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (78000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩とバス) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	30000 円	スーパーでの買い物
生活費	83000 円	家賃、洗濯費
学用品購入費	30000 円	教科書など (1 学期あたりの金額)
交通費	0 円	学生パスがあったため学生は無料 (入学当初に 3 万ほど一括で支払った)
交際費	20000 円	外食やお出かけなど (旅行に行った際は +10 万ほど)
その他	20000 円	生活必需品など

合計

183000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

私が留学していたロンドン市はダウタウンの方にホームレスなどはいましたが、比較的治安はよく、大きな事件に巻き込まれることはありませんでした。
 しかし、大麻が合法のため、大麻を吸いすぎたホームレスなどはよく見かけましたが、襲ってくることはありませんでした。
 また、大学内や周辺はセキュリティがしっかりしていることもあり安全でした。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(113,381) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	University Health Insurance Plan (UHIP)		
加入期間	(8) ヶ月間	保険料	(約 50400) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**オンタリオ州ロンドン市**)
 ロンドン市はカナダのオンタリオ州西部、トロントとウィンザーの間に位置する都市で、人口は約 36 万人。オンタリオ州西部では最大の都市であり、教育やヘルスケア、観光、商業、経済に力を入れており、地方の中で中心的な都市である。また市内には多数の公園が存在しており、Forest City というニックネームが市についている。
 大学からバスで 15 分程の場所には Downtown があり、多種多様なレストランやクラブが並んでいる。そのため、週末は学生や大人たちで賑わう。
 気候は、夏季は日本と比べて湿気が少なく、カラッとした暑さのため比較的過ごしやすい。冬季は日照時間が少なく曇りがちで、雪や雨が降ることが多い。冬の最低気温は-30 度に達することもある。
 交通は、街中を市営バスが通っているため移動しやすいが、遅延したり、予定より早くに出発したりすることが多々ある。基本的に google map からバスの運行情報を入手するが正確性は 70%ほどである。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ヒューロン大学	所在地	1349 Western Rd, London, ON N6G 1H3, Canada
最寄空港	Toronto Pearson International Airport	空港からの距離	3 時間
空港⇄大学	(バス) *移動手段		
学生数	1500	留学生数	450
学部	Center for Global Studies, Chinese, Japanese and East Asian Studies, Economics, English and Cultural Studies, French Studies, Global Great Books, Governance, Leadership & Ethics, History, Jewish Studies, Management and Organizational Studies (MOS), Philosophy, Political Science, Psychology, Religion & Theology, Ivey Business School Partnership		
	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Center for Global Studies		
	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Academic Writing		Academic Writing		Introduction to Global Culture
午後	Canadian Labor History	Introduction to Business	Canadian Labor History	Introduction to Business	

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	English Literature Environmental Stewardship		English Literature Environmental Stewardship		
午後		Introduction to Business		Introduction to Business	

3. 履修内容

科目	Introduction to Global Culture		
履修期間	2022/09/08 - 2022/12/22	単位数	0.5 credit
授業内容／形態	<p>この講義ではグローバル文化についてどのような過程で生まれ、どのように関わり合ってきたのか歴史的背景を遡りながら考察していく。</p> <p>毎講義前に文献を予習して授業に臨み、講義内では各文献の内容について生徒や教授とディスカッションする。</p> <p>また、2~3名でグループを組んでプレゼンテーションを行う。</p> <p>クラスは少人数制。</p>		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Academic Writing		
履修期間	2022/09/08 - 2022/12/22	単位数	0.5 credit
授業内容／形態	<p>この講義では大学で求められる論文の書き方を基礎から学び、課題を通して実践的なライティングスキルを身に付ける。</p> <p>予習課題はほとんどなく、定期的に出されるレポート課題と小テストを基に成績がつけられる。</p> <p>クラスは少人数制。</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Canadian Labor History		
履修期間	2022/09/08 - 2022/12/22	単位数	0.5 credit
授業内容／形態	<p>この講義ではカナダの労働における歴史を1から学ぶ。カナダはなぜ現在のように栄えることができたのか、労働の歴史的背景を遡りながら学ぶ。</p> <p>3週間に1度のペースで小論文課題が課される。</p> <p>この講義は80%以上レポートと期末課題で成績評価がつけられる。</p>		
成績	D		

YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Introduction to Business		
履修期間	2022/09/08 - 2023/04/30	単位数	1 credit
授業内容／形態	<p>この講義は通年で履修必須な講義である。</p> <p>講義では、Ivey Business School 監修の下作成された教材を使ってビジネスの基礎となる Finance, Marketing, Organizational Behavior, Operationなどを学ぶ。</p> <p>毎授業様々な企業のケーススタディズを通して実践的に学んでいく。</p> <p>予習必須の講義かつ、講義内で発言しないと出席点がもらえない。</p> <p>成績は授業での発言と期末テストの結果をもとに付けられる。</p>		
成績	D		
YCU 振替予定	科目	Global Business Strategy	
	単位数	2	
	担当教員	山本 雅樹	

科目	English Literature		
履修期間	2023/01/09 - 2023/04/30	単位数	0.5 credit
授業内容／形態	<p>この講義では様々な Fiction Story を毎授業を通じて学んでいく。</p> <p>講義で取り扱われる文献を予習して講義に臨む必要がある。</p> <p>講義では積極的に発言することが求められ、グループディスカッションの時間も設けられる。</p> <p>成績はレポートとプレゼンテーションを基に付けられる。</p> <p>少人数制の講義。</p>		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	Elements of Fiction	
	単位数	2	
	担当教員	トムソン ホリー	

科目	Environmental Stewardship		
履修期間	2023/01/09 - 2023/04/30	単位数	0.5 credit

授業内容／形態	<p>この講義では SDGs を軸にどのように環境管理を行っていくべきか、現状課題と向き合いながら学んでいく。</p> <p>講義内ではグループディスカッションの時間が多く設けられ、その内容を発表することが求められる。</p> <p>成績はグループワークへの参加とレポート、グループプレゼンテーションによって付けられる。</p> <p>2年生以上が参加可能な講義のため、高学年の参加率が高かった。</p>	
成績	A+	
YCU 振替予定	科目	環境経済学
	単位数	2
	担当教員	二宮 浩輔

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	H. K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4	派遣国	カナダ
派遣大学	ヒューロン大学		
期間	2022年9月7日～2023年4月30日		
プログラム	交換留学プログラム		

<留学先大学での履修内容>

科目	Introduction to Global Culture
講義内容	この講義ではグローバル文化についてどのような過程で生まれ、どのように関わり合ってきたのか歴史的背景を遡りながら考察していく。 毎講義前に文献を予習して授業に臨み、講義内では各文献の内容について生徒や教授とディスカッションする。 また、2~3名でグループを組んでプレゼンテーションを行う。 クラスは少人数制。
科目	Academic Writing
講義内容	この講義では大学で求められる論文の書き方を基礎から学び、課題を通して実践的なライティングスキルを身に付ける。 予習課題はほとんどなく、定期的に出されるレポート課題と小テストを基に成績がつけられる。 クラスは少人数制。
科目	Canadian Labor History
講義内容	この講義ではカナダの労働における歴史を1から学ぶ。カナダはなぜ現在のように栄えることができたのか、労働の歴史的背景を遡りながら学ぶ。 3週間に1度のペースで小論文課題が課される。 この講義は80%以上レポートと期末課題で成績評価がつけられる。
科目	Introduction to Business
講義内容	この講義は通年で履修必須な講義である。 講義では、Ivey Business School 監修の下作成された教材を使ってビジネスの基礎となる Finance, Marketing, Organizational Behavior, Operationなどを学ぶ。 毎授業様々な企業のケーススタディを通して実践的に学んでいく。 予習必須の講義かつ、講義内で発言しないと出席点がもらえない。 成績は授業での発言と期末テストの結果をもとに付けられる。

科目	English Literature
講義内容	<p>この講義では様々な Fiction Story を毎授業を通じて学んでいく。</p> <p>講義で取り扱われる文献を予習して講義に臨む必要がある。</p> <p>講義では積極的に発言することが求められ、グループディスカッションの時間も設けられる。</p> <p>成績はレポートとプレゼンテーションを基に付けられる。</p> <p>少人数制の講義。</p>
科目	Environmental Stewardship
講義内容	<p>この講義では SDGs を軸にどのように環境管理を行っていくべきか、現状課題と向き合いながら学んでいく。</p> <p>講義内ではグループディスカッションの時間が多く設けられ、その内容を発表することが求められる。</p> <p>成績はグループワークへの参加とレポート、グループプレゼンテーションによって付けられる。</p> <p>2年生以上が参加可能な講義のため、高学年の参加率が高かった。</p>

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学生生活を通して、日本で生活しては気づくことができない様々なことに気づくことができました。今回の感想では、生活面、勉強面、メンタル面、食事面の4点にフォーカスを当てて述べていく。

【生活面】

生活面に関して、カナダの学生は世界中から集まっているため学生寮で生活するか、シェアハウスで生活するかのほぼ2択であった。

カナダで暮らす人々は基本的朝にシャワーを浴びるため、元々夜にシャワーを浴びる日本人の私にとっては時間が被ることなく、生活しやすかった。

生活費に関して、私が留学した時期は円安だったこともあり、生活費が日本の1.5倍ほどかかった。また、そもそも現地の物価が高かったこともあり、絞れるところは絞ってやりくりをした。

治安に関して、私が暮らしていた場所はダウンタウンの近くであったため、ホームレスなどはいたが、危険な目に遭うことなく過ごすことができた。しかし、夜遅くの行動は基本ウーバーを使って移動するか、友人と行動するなどできる限り危険に遭遇する確率を下げるよう心掛けていた。

【勉強面】

勉強面に関して、ヒューロン大学のほとんどの講義では予習が求められるケースが多かった。予習をしていないと講義についていけなかったり、発言が求められた際しっかりと意見が言えなかったりするなど、質の低い学びに繋がってしまう。そのため、現地の学生のほとんどは平日の空きコマや夜は図書館などでしっかり勉強をしていた。またビジネスのクラスでは成績優秀者は3年次からIveyのコースが受けられるため、日頃の学習に加え、テスト期間前は特に勉強に集中していた。総じて、カナダの学生は非常に勉強熱心であると感じた。

【メンタル面】

メンタル面に関して、カナダでは1人ひとりのメンタルの状態を非常に大切に考えているため、大学の敷地内にWellness Centerを設けるなど学生のメンタルケアに力を入れていた。また、メンタルが落ちてしまっている際は教授に相談することで課題の期限を延ばしてもらえうことができるなど、柔軟に対応してもらうことが可能であった。

また、ヒューロン大学の学生のほとんどは親元を離れて暮らしている学生で、長期休み以外は気軽に帰省することが難しいため、友人同士でディープな悩みを相談し合うなどして、お互いにメンタルケアをしていた。

【食事面】

食事面に関して、カナダには様々な国の人々が暮らしているため、彼らの宗教や文化を考慮

し、スーパーに並んでいる食品は多種多様であり、レストランの種類も非常に様々であった。現地にはアジアンスーパーマーケットもあったため、日本食が恋しくなった際はそこで日本食を手に入れたり、日本食レストランを訪れたりするようにしていた。そのため、留学期間中、食事面で困ることは少なかった。

ただ、現地で売られている食品やレストランで出てくるご飯の量は日本に比べてかなり多く、食べきれないことも多かった。レストランで食べきれなかった際は、基本的にボックスをもらうことができ、持ち帰ることができる。日本ではまだ持ち帰り文化がないため、フードロスを減らすためにもこの食文化が浸透してほしいと感じた。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後の展望として、今回留学を通して得た経験を主に 2 つのことに活かしていきたいと考えている。

1 つ目は将来の選択である。私は留学を通して、将来は海外で働き、生活をしたいと考えるようになった。そのため、仕事選びの軸の 1 つとして海外に本社や支社があり、コンネクションが強いところを探していきたいと考えている。そして、そのような特徴を持つ企業で働くことで海外で働き、生活する力を身に付け、最終的には海外に生活の拠点を移して、国籍を取得していきたいと考えている。

2 つ目は留学経験の発信である。私自身、留学を通して新たな人々や価値観と出会うことができ、視野が広まったと感じている。そのため、できるだけ多くの学生に留学の良さを知ってもらい、選択肢の 1 つとして考えるキッカケを作りたいと考えている。そこで私は YouTube など SNS を通じて多くの人々に留学での経験を伝えていきたいと考えている。

また、留学期間中、日本に興味があり日本語を学ぶ多くの学生に出会った。そのため、彼らのように日本に興味がある学生に日本の良さがより伝わるコンテンツなども発信し、日本を訪れるキッカケになればと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学を考えている学生の皆さん、留学って異国の地に行き、普段使わない言語を話して生活していくため、留学に行くことと決断するのはとても勇気がいることだと思います。また、留学は日本で生活をする何倍も費用もかかるので、ハードルが高いように感じられると思います。ただ、留学はその分沢山の経験と学びを得ることができ、留学するしないですべての人生の方向が大きく変わってくるかもしれません。なので、少しでも留学に興味がある、今の状況を変えたいと思うなら、飛び込んでみてください！いきなり飛び込むことに抵抗があったら、実際に留学に行った先輩方からお話を聞いてみるのも良いと思います！

私自身、「やらずに後悔するくらいならやって後悔したほうが良い」と考える性格なのもありますが、大学生のうちはいくらでも失敗して良いと思っています！むしろ失敗の数だけ、経験値になり、学びになり、自分を大きく成長させてくれると思います。また、それらの失敗は無駄にならず、必ずその先の成功に繋がっていると思います。なので、これを読んでいる皆さんには留学に限らず、何事にも恐れず挑戦し続けてほしいと思います。もし留学に関して私に相談したいということであれば、いつでも相談に乗るので、お気軽にご連絡ください。

留学を通して皆さんの人生がよりよいものになりますように。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。